

Generous Split - ver. 0.2

3～5人 / 30分 / 8歳以上

カード構成

通常のトランプ1組52枚を使います。

ランクは高い順にA, K, Q, J, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2です。切札は常にスペードです。

目的

ゲームの終わりに、自分の前に集めたカードの枚数が得点になります。ただし、プレイヤーの中でもっとも多くのカードを集めてしまうと、1点ももらえません。1位を避けることが重要です。また、1枚も集めなければ特別に点数がもらえます。

準備

適当な方法で親を決めます。親はすべてのカードをひとまとめにして裏向きによく切り、時計回りで全員に裏を向けて1枚ずつ配ります。配る枚数は3人なら13枚、4～5人なら10枚です。残りのカードは裏向きのままわきによけ、その回のゲームでは使いません。

親の左隣のプレイヤーからゲームを始めます。

ゲームの流れ

最初のプレイヤーは、好きなカードを手札から1枚、自分の前に表向きに出します。これを「台札」と呼びます。続いて、時計回り順に残りのプレイヤーも1枚ずつカードを出しますが、このとき台札と同じスートのカードが手札にあれば、必ずその中から選んで出さなければなりません。同じスートがなければ、どのスートのカードを出してもかまいません。

全員が1枚ずつカードを出したら、勝敗を決めます。切札（スペード）のカードが出ていれば、その中でもっともランクが高いカードがその勝負に勝ちます。スペードのカードがなければ、台札と同じスートでもっともランクが高いカードが勝ちます。

切札で勝った場合、全員がこの勝負に出したカードを、1つの山にして場の中央に裏向きに置きます。前の勝負でできた山があったら、新しい山を重ねて置いてかまいません。

切札以外のカードで勝った場合、勝った人はこの勝負に出されたカードと、場の中央に集まったカード山とをすべて引き取り、手札とは別に裏向きにして、自分の手前に置いておきます。

勝った人が新しい台札を出して次の勝負を始め、これを全員の手札がなくなるまで繰り返します。

ゲーム中、一度裏向きにしたカードは誰も見てはいけません。

得点

ゲームが終わったとき、自分の手前に集めたカード1枚につき1点になります。

ただし、全員の中でもっとも多くカードを集めた（もっとも点数の高い）プレイヤーは、何枚であろうと0点になります。そのような人が2人以上いれば、その全員が0点になります。

また、1枚もカードを集めなかったプレイヤーがいれば、もっとも多くカードを集めたプレイヤーの点数（複数いればその合計）を、1枚も集めなかった人全員で頭割りします。端数は切り捨てます。

点数のもっとも高いプレイヤーがゲームの勝者です。次のゲームは、前のゲームで0点だったプレイヤー（複数いれば前の親に時計回りでより近い人）が親になります。ぜひ、人数分のゲームを行って合計点で真の勝者を決めるとよいでしょう！

Generous Split

Game Design: Kazuma Suzuki (Twitter: @_kazuma0221)

Playtest by Ken-ichi Fujii, Oru Mihirogi, Satoru Nakamura (Alphabetical Order)

©Tarte Games 2020

Email: tartegamestokyo@gmail.com